

【テーマ別セッション】

A テーマ「林業における組織・制度改革の動向、背景、目指すもの」

【趣旨】近年、世界各国で林業関連の組織・制度に変革が起きている。その背景には、林業や木材加工の技術変化とそれに伴う主体間の力関係の変化、資源状況、私有林所有者の性格、森林に対する社会的要請、および産地間競争力の変化などがあるだろう。各主体がそれぞれの目指すところにしたがって改革を行い、それがまた他の主体に影響を与えて新たな関係の形成に向かう。本セッションでは、国内外の事例に基づいて、こうした林業における組織イノベーションの動向や背景と、その中で政策や各主体が何を目指しているのかについて議論したい。

【コーディネーター】岡裕泰，石崎涼子（森林総合研究所）

B テーマ「山村に住むことについて考える」

【趣旨】山村や漁村など周辺地域の暮らしは、地域の恵みを収穫し、それらを育てていくという日々の営みのなかで支えられてきた。地域の資源を利用し、地域の暮らしを守ろうとする取組は地域住民のネットワークのうえに成り立っている。取組の活性化のために、住民が、外部者を取組の企画・設計などの意志決定や取組の推進に係わってもらうことを必要とする場合もある。本セッションでは、地域に暮らしていくために、住民は、住民同士や外部者とのネットワークをどう築いていくべきかを、コモンズ論や協治論やガバナンス論なども用いて議論したい。

【コーディネーター】奥田裕規（森林総合研究所関西支所）

C テーマ「再生プラン後の森林管理・林業生産の変化と林業・山村」

【趣旨】森林・林業再生プランはその評価が分かれるところであり、この春の林業経済学会シンポジウムにおいても活発に議論が行われた。本セッションでは、再生プラン後の日本の森林・林業の姿をタイムリーに描き出すため、現時点での各地の事例を全国的かつ俯瞰的に把握する。具体的には、集約化が進む素材生産業、変貌する原木市場、大型化が加速する製材加工業等の要因による国産材生産流通体制の変化の実相を捉えるとともに、山村活性化の現状をみる。さらに、国有林が果たしている役割についても分析し、事実を共有した上で議論を深めたい。

【コーディネーター】高橋卓也（滋賀県立大学）

【テーマ別セッション・自由論題報告プログラム】

11月9日（土）

時間	報告番号	発表者	座長	題目
311 番教室：【テーマ別セッション B「山村に住むことについて考える」】				
9:00~9:20	B1	奥田裕規		山村に住むことについて考える（「共有林利用の変質と活性化（山形県金山町榊沢共有林と秋田県上小阿仁村五反沢共有林を事例に-）」も含めて）
9:20~9:40	B2	加藤恵里，土屋俊幸	奥田裕規	山村における獣害対策のネットワーク形成－栃木県佐野市を事例として－
9:40~10:00	B3	八巻一成	奥田裕規	絶滅危惧種保全への山村社会の関わり：礼文島と男鹿半島を事例に
10:00~10:20	B4	田中求	奥田裕規	山村の資源をどう活かすか－高知県吾川郡いの町柳野地区における和紙原料生産の動態から－
10:20~10:40	B5	福島万紀	奥田裕規	山村で暮らすための林業再生にむけて－住み込み型アクション・リサーチからみえてきた課題－
10:40~11:00	B6	大地俊介，藤掛一郎	奥田裕規	地域林業経営における共的な林地所有の重層性とその現代的意義：宮城県東白杵群諸塚村の事例
11:00~12:00		討論	奥田裕規	山村で暮らすことと地域資源（環境・益 or 害）の関係をどのように考えるのか
13:00~13:20	B7	大久保実香	奥田裕規	出身山村と他出先との二地域居住
13:20~13:40	B8	垂水亜紀	奥田裕規	限界自治体化山村における定住問題－四国の事例から－
13:40~14:00	B9	土屋俊幸	奥田裕規	移住者たちと山村社会－長野県大鹿村を事例に－
14:00~14:20	B10	三保学，齋藤暖生	奥田裕規	広域地方行政下における財産区運営の自律性の獲得－愛知県豊田市を事例に－
14:20~14:40	B11	齋藤暖生	奥田裕規	財産区連合化への試みと背景－山梨県富士吉田市における3財産区の事例から－
14:40~15:30		討論	奥田裕規	山村に暮らす人たちと共同性（財産区問題から見えるもの）
311 番教室：自由論題報告				
15:30~16:00	D1	小川拓哉，相川高信	垂水亜紀	市町村行政における森林分野の人材育成－愛知県新城市の取り組み－
16:00~16:30	D2	松本美香，山本幸生，飯國芳明	垂水亜紀	中山間地域における森林所有情報の現状－高知県長岡郡大豊町 A 集落の事例－
16:30~17:00	D3	秋元永巳，米康充，小池浩一郎	垂水亜紀	自治体における木質燃料ボイラー導入プロセスの考察
325 番教室：【テーマ別セッション C「再生プラン後の森林管理・林業生産の変化と林業・山村」】				
9:00~9:10		高橋卓也		主旨説明
9:10~9:40	C1	川村誠，枚田邦宏，高橋卓也	枚田邦宏	現代における資源・市場の変革過程－林業構造論の視点から－
9:40~10:00	C2	幡建樹，下田佳奈	枚田邦宏	北海道における素材生産流通の変化と国有林経営－道東地域を中心として－
10:00~10:20	C3	下田佳奈，川村誠，大塚生美	伊藤勝久	首都圏市場と地域資源を結ぶ製品供給基地の展開
10:20~10:40	C4	金山知広	伊藤勝久	三河・天竜地域における資源成熟と流通経路分析
10:40~11:00	C5	高橋卓也，梅原久奈，山元周吾，由水葵	伊藤勝久	大都市近郊山村の I ターン者を中心とした動態に関する研究－滋賀県高島市朽木地区を事例として－
11:00~11:20	C6	小菅良豪，伊藤勝久	幡建樹	岡山県北部における素材生産の現状について
11:20~11:40	C7	伊藤勝久，小菅良豪	幡建樹	真庭・津山地域の製材産地の変化と現状－原木流通と製材過程を中心にして－
11:40~12:00	C8	大田伊久雄	幡建樹	四国地域における林業・木材産業の現状

13:00~13:20	C9	薛佳, 藤掛一郎, 大地俊介	大田伊久雄	林業事業体による立木買いの実態－宮崎県における林業事業体アンケート調査の分析－
13:20~13:40	C10	枚田邦宏, 藤掛一郎, 大地俊介	大田伊久雄	南九州地域の素材流通の新たな動き－地域の林業構造の変化から－
13:40~15:00		自由討論	枚田邦宏	

325 番教室：自由論題報告

15:00~15:30	D4	金森啓介	川崎章恵	森林団地化による集約的施業が長期森林経営に及ぼす経済的効果について
15:30~16:00	D5	佐藤浩朗, 小池浩一郎	川崎章恵	大分県のタワーヤード導入プロセスについての考察と問題
16:00~16:30	D6	多田忠義	山本信次	東北日本における合板向け素材生産の増加と震災後の集荷圏試算
16:30~17:00	D7	早尻正宏	山本信次	森林組合の原発被災と再建課題

335 番教室：自由論題報告

9:00~9:30	D8	長濱和代, 斎藤馨	谷祐可子	インドにおける参加型森林管理の現状と課題－森林パンチャーヤトの事例から－
9:30~10:00	D9	宮崎亮一	谷祐可子	地域住民による木炭生産の実態－ラオス・ビエンチャン県の事例－
10:00~10:30	D10	宮本基杖, 道中哲也, ファリッド・ママット, アイニ・ザカリア	原田一宏	マレーシア半島部における貧困削減策が森林減少抑制に与えた影響
10:30~11:00	D11	橋本沙優, 小池浩一郎	原田一宏	農家による樹林地造成・利用の動向について－タイ－
11:00~11:30	D12	POYA Ghulam Hussain, Tsuchiya Toshiyuki	平野悠一郎	Stakeholders Roles in Collaborative Management of Protected Areas in Afghanistan: A Case from Band-e-Amir National Park, Bamiyan Afghanistan
11:30~12:00	D13	キャンセル		
13:00~13:30	D14	キャンセル		
13:30~14:00	D15	興梶克久	三木敦朗	「緑の雇用」研修の評価
14:00~14:30	D16	奥山洋一郎, 赤池慎吾, 三木 敦朗	関岡東生	森林・林業博物館の現状と課題
14:30~15:00	D17	木山加奈子, 土屋俊幸	関岡東生	森林学習施設におけるボランティアの位置づけ
15:00~15:30	D18	大石卓史, 田村典江, 枚田邦宏, 奥山洋一郎	寺下太郎	日本型フォレスターの育成・活動状況と今後の展望
15:30~16:00	D19	相川高信, 柿澤宏昭	寺下太郎	日本型フォレスターとは何か？ 国際比較による分析
16:00~16:30	D20	梅原久奈	石崎涼子	新聞による盗掘の報道から見る盗掘及びその対策の傾向
16:30~17:00	D21	前川洋平, 宮林茂幸, 関岡東生	石崎涼子	市町村による伝統的工芸品産業への支援

11月10日(日)

時間	報告番号	発表者	座長	題目
311 番教室：【テーマ別セッションA「林業における組織・制度改革の動向、背景、目指すもの」】				
9:00~9:25	A1	柿澤宏昭	立花敏	スウェーデンにおける環境保全型森林管理－「非規制の森林政策」はなぜ機能するのか？－
9:25~9:50	A2	石崎涼子	立花敏	スイスにおける助成策の改革
9:50~10:15	A3	久保山裕史	立花敏	オーストリアの林業における近年の組織改革
10:15~10:40	A4	平野悠一郎, 久保山裕史, 立花敏	山本伸幸	アメリカ南部地域の私有林をめぐる多面的経営：森林投資型経営の発展と民間フォレスターの活躍
10:40~11:05	A5	小坂香織, 立花敏	山本伸幸	ニュージーランド人工林経営における2000年代以降の共同投資の経緯と現状
11:05~11:30	A6	辻井寛, 前川洋平, 関岡東生	山本伸幸	都道府県総合計画における森林・林業施策
11:30~12:00			岡裕泰, 石崎涼子	総合討論
325 番教室：自由論題報告				
9:00~9:30	D22	外山正次郎, 佐藤宣子, 川崎章恵	幡建樹	スギ並材生産地域における大規模製材工場の経営動向とその変容－宮崎県都城地域を事例に－
9:30~10:00	D23	尾分達也, 川崎章恵, 佐藤宣子	幡建樹	九州における原木流通構造と材価変動の実態
10:00~10:30	D24	笠松浩樹	嶋瀬拓也	国産材製材産地の現状と可能性－愛媛県南予地域を事例に－
10:30~11:00	D25	大津裕貴, 小池浩一郎	嶋瀬拓也	エネルギー需要はいかにマテリアル利用に影響するか
11:00~11:30	D26	早船真智, 立花敏, 荒谷明日兒	高橋卓也	1985年以降における規模別製材工場の変化とその要因：外材輸入構造の変化との関連
11:30~12:00	D27	野場敦滋, 小池浩一郎	高橋卓也	スプルースのグレーディングとその経済的な利益について
12:00~12:30	D28	林宇一, 立花敏	藤掛一郎	木材価格変動に関する分析
12:30~13:00	D29	嶋瀬拓也	藤掛一郎	木材需給の変動要因と需給調整機関の役割に関する理論的検討－研究フレームワーク構築の試みとして－
335 番教室：自由論題報告				
9:00~9:30	D30	赤池慎吾	奥田裕規	明治30年森林法制定期における「従来保安林」の継承・展開過程
9:30~10:00	D31	岡部岳人, 久保雄広	奥田裕規	国立公園登録が林業活動にもたらす潜在的な影響－奄美大島を事例に－
10:00~10:30	D32	児山祐未, 土屋俊幸	八巻一成	都市の小規模緑地における市民保全活動の実態と課題－川崎市を事例として－
10:30~11:00	D33	池田友仁, 志賀薫, 志賀和人	八巻一成	国立公園特別地域における森林管理と森林施業－奥秩父多摩川・荒川・富士川源流部を事例に－
11:00~11:30	D34	伊豆菜津美, 久保雄広, 辻田茜, 庄子康, 愛甲哲也	土屋俊幸	奄美大島における森林レクリエーションに関する現状と課題
11:30~12:00	D35	馬志遠, 比屋根哲	土屋俊幸	中国地方都市の小学校における環境教育の現段階－山西省長治市淮海小学校の環境教育教材の分析－
12:00~12:30	D36	本田裕子	齋藤暖生	ツシマヤマネコの保護活動における住民の参加意思に関する分析
12:30~13:00	D37	三木敦朗, 大地純平, 小池正雄	齋藤暖生	狩猟者の年齢階梯と免許の種類・狩猟方法の変化－長野県を事例として－

注1 自由論題報告は、報告20分・質疑応答10分です。テーマ別セッションは、コーディネーターの時間配分に従います。